

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月22日更新

事務事業名		都市計画基本図等作成事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	5 都市基盤の健康				所属部	事業部	課長名	岩男 竜彦
	施策	23 計画的な土地利用の推進				所属課	都市計画課	担当者名	管澤 秀一
	施策の柱	65 計画的な市街地の形成				所属班	都市計画班	(内線)	2235
予算科目		会計一般	款8	項4	目1	事業連番10170	根拠法令	都市計画法	
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		
								成果優先度評価結果	①
								コスト削減優先度評価結果	⑥

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	2万5千分の1管内図の印刷、空中測量、デジタルオルソの作成、予察、現地調査、地図データの修正、都市計画図(1万分の1)印刷、都市計画基本図(2千5百分の1)原図の作成、1万分の1白図原図の作成、在庫の管理 合併に伴い、平成17年度に2万5千分の1の管内図を作成し、平成18年度からは都市計画基本図(2千5百分の1)、合志市全図(1万分の1)、都市計画図(1万分の1)の作成に着手した。合併により行政区域が現在の姿になった。また土地利用が進み、建築物や道路などに変化が見られる。
【業務の流れ】	地図データの修正、原図修正、印刷の発注、在庫の管理、納付書発行
【主な予算費目】	需用費、委託料
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO) 地図データの修正、都市計画図(1/10000)の印刷、在庫の管理、納付書発行		29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 都市計画基本図印刷、在庫の管理、納付書発行
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 市全域の面積	km2	都市計画基本図修正業務委託の完了による、委託料の減
イ 整備すべき地図の種類	種類	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市の地理情報(データ、原図、印刷物)、都市計画(用途地域、道路、地区計画など都市計画決定済みのもの)		(単位)
		→ ア 市全域の面積
		→ イ 整備すべき地図の種類
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
合志市の地理情報や都市計画の地図データの修正を行い、都市計画基本図(2千5百分の1白図)原図、1万分の1白図原図の作成、都市計画図の印刷を行う。		(単位)
		→ ア 整備の完了した面積
		→ イ 整備の完了した地図の種類
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
市の地理情報の整備状況を把握する		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移										
		単位	26年度 実績(決算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	30年度 予定	31年度 見込	32年度 見込
① 活動指標	ア	km2	53.17	53.19	53.19	53.19	53.19	53.19	53.19	53.19
	イ	種類	0	0	1	1	1	0	0	0
② 対象指標	ア	km2	53.17	53.19	53.19	53.19	53.19	53.19	53.19	53.19
	イ	種類	0	0	1	1	1	0	0	0
③ 成果指標	ア	km2	53.17	53.19	53.19	53.19	53.19	53.19	53.19	53.19
	イ	種類	3	3	3	3	3	3	3	3
投資 入費 量	事業 源内 訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	70		56	63	56		
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	48		12,282	11,385	783	53	53
	(A) 事業費計	千円	118	0	12,338	11,448	839	53	53	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	2	2	3	2	2	2
	人件 費	延べ業務時間	時間	60	60	80	150	45	45	45
		(B)人件費計	千円	239	222	318	0	179	179	179
		トータルコスト(A)+(B)	千円	357	222	12,656	11,448	1,018	232	232

事務事業名	都市計画基本図等作成事業	所属部	事業部	所属課	都市計画課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由 ☒ 向上余地がない ⇒【理由 整備水準については、通常あるべき水準を確保した。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☒ 他に手段がない ⇒【理由 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由 市の地図を作成・管理する事業は他にない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由 ☒ 削減余地がない ⇒【理由 削減余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由 ☒ 削減余地がない ⇒【理由 出来上がった地図の管理（販売含む）のために最低限の人員が必要である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由 ☒ 公平・公正である ⇒【理由 一般の方に譲り渡す場合には印刷費相当の金額を徴しており、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由

3 評価結果の総括 (CHECK)

在庫の管理及び、地図販売に伴う納付書の発行を行なった。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可

☐廃止
☐休止
☐目的再設定
☐事業統廃合・連携
☐事業のやり方改善 (有効性改善)
☐事業のやり方改善 (効率性改善)
☐事業のやり方改善 (公平性改善)
☒現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策